



店内のいたるところで環境配慮しています

～おなじみの商品も生まれ変わっています～

株式会社アレフ
びっくりドンキー中倉店
【飲食店】

株式会社アレフびっくりドンキー中倉店は、平成19年にオープンしました。全社を挙げてごみを減らし、資源を再び生かすリサイクルを実施し、レストランならではの取組みを展開しています。

紙ナプキンの原料は、パルプの代わりにサトウキビの搾りかす(バガス)を50%使用しています。さらに六つ折りから四つ折りにすることで、紙の使用量を3分の2に減らしています。

おなじみの木製ディッシュ(皿)は、役割を終えた果樹園の廃木を素材にしています。古くなって傷が目立ってきたときは、磨きなおして再利用します。割れた陶食器は独自の工場に回収され、原料の粘土と混合して小鉢などに再商品化されます。

客用箸は理解をいただいた上でリターナブル箸を提供しています。リターナブル箸は、約1000回程度使用後、固形燃料などにリサイクルされます。

食べ残しなどの食品残渣物は、敷地内に設置している生ごみ粉碎乾燥処理機で処理し、自社または契約農場へ運搬して二次処理後、店舗の花壇などのたい肥として利用します。

古くなったユニフォームは、本社に回収され、自動車の内装材などにリサイクルされます。

雨水タンクが設置され、トイレの流し水として利用したり、蛇口に超節水バルブを利用したりと水使用量の大幅削減を目指しています。

今後も持続可能な循環型社会に貢献できるように、店舗としてできることを続けていきたいと考えています。



▲たい肥システム



▲リターナブル箸コーナー



▲雨水タンク

担当者の声

「環境行動というと、当初はあまりピンと来なかったのですが、次代を担う子どもたちが住み良い環境、住み良い地球を残すために、今、自分たちは何をしなければならぬのかと考えると、自然に取り組みるものだと思います」(松尾店長)



連絡先：TEL 022-782-3901



次代を担うものづくり・人づくり

～地域貢献を通して広くエコを広める～

アサヒビール株式会社
東北統括本部【製造業】

アサヒビール東北総括本部では、全社挙げての環境マネジメント体制「Asahi way」のもと、社内外の様々な人々とのコミュニケーションを通じて、社会全体での環境負荷低減に取り組んでいます。

工場内でのビール類の生産に伴う廃棄物・副産物については、2002年度に再資源化率100%を達成し、容器包装などの3Rも徹底されています。現在は営業拠点やオフィスにもこういった取組みが拡大されています。

CSRやコンプライアンスの研修時に、全社員向けのeラーニングや座学を実施し、社員の認識付けを行い、紙類の使用抑制や、資源物の徹底分別・リサイクルなどを実施しています。

イベントで使用するパネルなどの販売促進物を、再生紙や使用後にリサイクルできる紙やプラ素材を利用したり、年度をいれずに作成し繰り返し利用

できるようにしたりするなどの工夫が施されています。

一方で住民を対象にした環境配慮の啓発にも意欲的に取り組んでいます。

東北地方の高校生を対象に、地元資源を使った環境問題解決スキームを考える「若武者育成塾」や、施設の子どもたちを対象に「キッズプロジェクト」を展開するなど、様々なイベントの開催を通じて、地球の未来を担う子どもたちに、地球環境問題への理解を深め、共に考える機会を与えています。

担当者の声

社員には「環境のために」ではなく、日常行動パターンの一つとして、「当たり前」という風土を作りたいです」(総務部 有馬さん)



▲資源物の分別が一目でわかるリサイクルコーナー



▲ペットボトル回収庫付近では、ラベルをはがす道具を常備

連絡先：TEL 022-261-2212



「リサイクルは当たり前」地域とつくるエコの輪

～ちょっとした呼びかけで多くの資源物を回収～

ヤマザワ泉ヶ丘店
【スーパー】

ヤマザワ泉ヶ丘店は、容器の店頭回収制度を実施しており、お客様の多くがこの制度を利用しています。

平成3年5月の牛乳パックの回収から始め、順次品目を拡大してきました。牛乳パックは、現在1日に140kgほど回収しています。回収後、製紙会社でトレイレットペーパーに再生され、店舗に商品として陳列します。

トレー類に至っては、1日の回収量が200kgを超えることもあります。

アルミ缶については、10個投入すると5円還元される「アルミ缶ポスト」を平成19年12月より導入しています。子どもたちからも人気があり、リサイクルの動機付けの一環になっているのではないかと思います。

食品の残渣は委託業者によって回収し、魚のあらは魚の餌にされ、その他の生ごみはたい肥化されます。

また、レジ袋削減のために、平成7年からスタンプカードなどを導入したマイバッグ持参運動を開始し、平成21年2月2日からは、有償提供を実施しています。商品の持ち帰りのための段ボール箱の無償提供も実施しています。

担当者の声

「地域と共同で主だった活動こそしていませんが、主な利用者である近隣住民による資源物の持ち込みはだいたい定着しており、環境に対する意識の高さを実感しています。店舗からの呼びかけが、そのきっかけになったのではないかと感じています」(相澤店長)



▲店頭容器回収コーナー



▲段ボール箱の提供



▲アルミ缶ポスト

連絡先：TEL 022-372-3211